

## オルガテック2012ーケルン国際オフィス家具見本市

会期:2012年10月23日(火)～27日(土)

会場:ドイツ連邦共和国ケルンメッセ会場

ファイナルレポート

### オルガテック 2012 - 時代に即したテーマが新市場を開く

来場者の国際性がさらに増し、意思決定者も多数

123カ国から約50,000人が来場

オフィスの未来と最新コンセプトをめぐり討議が白熱

ケルンで開かれていたオルガテック2012は、十分な成果を残して素晴らしい雰囲気の中に10月27日に終了しました。オフィス家具業界をリードする当見本市に、今回は世界123カ国から約50,000人が来場する結果になりました。35カ国から622社が出展し、未来志向のオフィスの最新ソリューションが展示されました。出展者の59%、来場者の48%が海外からの参加となっています。「オルガテック2012では国際性がさらに豊かになり、意思決定者が多数訪れ、多くのユーザー企業の購買担当者が自ら来場しました。会場では全世界の最新オフィス環境のソリューションが紹介されただけではありません。この見本市はオフィス家具への大規模な投資が決定され、または準備が行われた場でもあったのです」と話すのは、ケルンメッセ副社長カタリーナ・クリスティーネ・ハマです。また、オフィス・椅子・ファシリティ家具連盟(BSO)のヘンドリック・フント会長は次のように総括します。「オルガテックは今回、製品メッセから“テーマメッセ”へと発展しました。来場者が何より知りたいと思うのは、未来のオフィスで人がどのように働くのかという点です。製品への関心はこれを補完する形になりました」。

### すべての面で成功した見本市

オルガテック2012にはオフィス家具、照明、床、音響、メディア技術など各分野の業界大手企業が多数出展し、展示内容のレベルも高かったことが来場者に大いにアピールしました。どのブースも人があふれる盛況でした。たとえばKönig + Neurath社のハインツ・H・マイヤリング社長は「2010年の出展時より来場者が増えました」と話し、Bene社のヴォルフガング・ノイベルト社長は「来場者が情報収集に非常に熱心でした」と報告しています。UniforSpA社のピエトロ・モルテーニ取締役は「今回の見本市は過去に比べずっと国際性が豊かでした」と総括しています。Sedus Stoll社代表取締役社長のベルンハルト・E・カルプ氏も「特に海外からの来場者が増えました」と見本市を振り返ります。各社の印象は来場者調査でも裏付けられました。東欧、アジア、中近東、トルコ、米国からの来場者が特に増えており、一方でユーロ危機の影響を受けた国々からの来場者はやや減少しました。

出展者は、来場者の中で意思決定者の比率が高かった点も評価しています。Haworth社のヘニング・フィゲ取締役は「実効性のあるコンタクトが多数得られました」と話し、Object Carpet社のダニエル・ブッツ取締役も「来場者の質の高さに感心しました」と述べています。こうした印象は、中立的立場で行われた来場者調査の結果でも確認されています。回答者のうち、86%が購買決定に関与する立場にあることが明らかになっています。

出展者は建築家、インテリアデザイナー、設計業者、専門業者らと情報交換できただけでなく、発注者であるエンドユーザー企業とのコンタクトが生まれたことにも満足感を示しています。Interstuhl Büromöbel社のヘルムート・リンク取締役は「前回出展時に比べユーザー企業の来場が30%増えました」と話し、Vitra社のルドルフ・ピュッツ取締役は「大企業、中堅企業の担当者と具体的なプロジェクトについて」商談できたと報告します。Dauphin Human Design Group社のヨヘン・イーリング取締役は「大手銀行、化学メーカー、自動車製造業などの担当者」がブースに来場したと話しています。このほか保険、メディア、テレコミュニケーション企業、また大手小売チェーンや官公庁の担当者がオルガテックを訪れました。

### 来場者も十分に満足

一方、来場者の側も今回の見本市に満足感を見せていました。来場者調査では「来場目的を果たせましたか」という質問に、回答者の83%が「(十分に)果たせた」と回答しました。展示された幅広い製品群が功を奏して、回答者の84%が出展内容を「(非常に)良い」と評価し、94%が「業界のパートナーにオルガテックへの来場を薦める」と答えています。

### トレンド:コミュニケーション、テクノロジー、職場での動きと快適感

オルガテック2012の内容は、現代オフィス環境の変化に的確に対応したものでした。特に中核テーマとなったのは、社内での意思疎通を容易にしながら、同時に各人が落ち着いて自分の仕事に集中できるような職場環境コンセプトです。これを可能にする革新的な音響ソリューションと照明コンセプトが紹介されました。また、オフィス家具とテクノロジーの融合、そして社内ノウハウと情報の共有・転送・共同処理を実現する最新技術というテーマも、今年のオルガテックの焦点でした。さらに、働く人がもっと身体を動かすことで健康増進と長期勤続を支援するオフィス環境も、大多数の展示で提唱されました。オフィス家具のデザインがますます居住性を重視し、快適感を実現する方向にあることが会場全体で感じられました。

### イベントプログラムも大好評

イベントプログラムでは世界的なトレンドが取り上げられ、各国からオフィスの模範例が紹介されました。たとえば未来の職場環境についてのサーベイ”New Work Order”の結果が今回初めて発表され、多くの来場者が詰め掛けました。オープンオフィスコンセプトの賛否を議論するパネルディスカッションが人気を博し、全世界のオフィスの実例を紹介するプログラムも大きな反響を呼びました。ケルンメッセのフランク・ハウボルト展示部長は、オルガテック2014に向けて次のように語っています。

「オルガテックの強みは幅広い展示内容にあります。今後、コントラクトビジネスの分野を増強すると同時に、オフィス・オーガニゼーションというテーマにも積極的に取り組んでいくつもりです」。

#### [メッセデータ]

出展者数： 35ヵ国622社（2010年：41ヵ国604社）

ドイツ国内256社（2010年：239社）、海外366社（2010年：365社）

海外からの出展比率59%（2010年：60%）

来場者数： 123ヵ国約50,000人（最終日の推定人数含む。2010年：112ヵ国50,237人）

海外からの来場者比率48%（2010年：44%）

総展示面積： 105,000㎡（2010年：105,000㎡）

\*以上の数字は見本市統計管理協会(FKM) の指針に基づき算出され、公認会計士の監査を受けています(www.fkm.de)。

今回の「オルガテック2014」は、2014年10月21日～25日に開催されます。

#### デジタルプレスサービス：

ファイナルレポート、その他プレスリリース、出展者情報、新製品情報一覧、写真とロゴのデータバンクは [www.orgatec.de](http://www.orgatec.de) - Presse でご覧いただけます。

本レポートを転載される場合には掲載紙をお送り下さい。

オルガテックに関するお問い合わせ：

ケルンメッセ株式会社

〒106-0045 東京都港区麻布十番2-20-6 ジャノメ麻布十番ビル7F

Tel:03-5418-6245 / Fax:03-5418-6246

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp